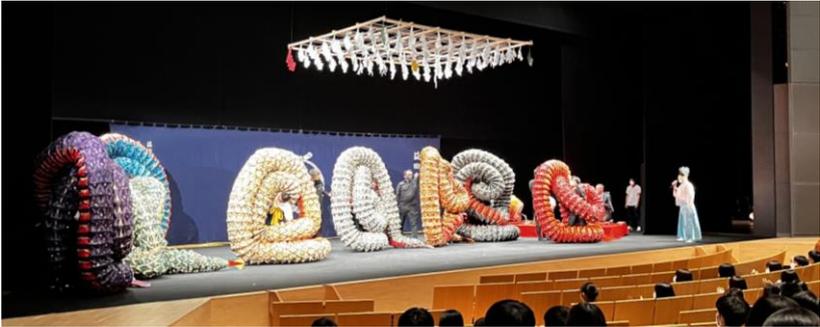


## 令和3年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 （観光誘客支援事業） 石見神楽を活用した観光振興及び次世代育成プロジェクト</p>
<p>取組内容</p>	<p>石見神楽を活用したまちづくりを推進するため、既存の枠組みに囚われず、益田独自の「益田神楽」ブランドの創出と次世代の人材の育成に活用可能なプログラムを開発すると共に、これらの取組をパッケージとして、継続的に取組む事業体の構築を目指す。</p>  <p>【事業期間】 令和3年度から令和5年度の各年度で事業の実施を行う。</p> <p>[令和3年度取組内容]</p> <p>○益田市民を対象とした石見神楽に関するアンケート調査の実施 名称：石見神楽に対する意識アンケート 対象者：①子ども世代 321名 対象：市内小学校6年生の児童/市内中学校2年生の生徒 ②現役社会人世代 329名 対象：市内小学校6年生の児童の保護者と 市内中学校2年生の生徒の保護者 ③シニア世代 253名 対象：市内20公民館に出入りしている方 合計：903名（男性37.1% 女性57.6% 無回答5.3%）</p> <p>○石見神楽による観光・産業振興策プランの策定 (1)石見神楽のファンを増やすため市外・県外公演の創出 独自で創出した市外・県外公演のために独自の舞手集団を結成し、年1回以上の定期的な興行を市外・県外で実施。 (2)新しい観光・体験コンテンツの創出 ①神楽社中体験の販売・実施 ②公演バックヤードツアーの販売・実施 (3)石見神楽をモチーフにした商品開発 お菓子・キーホルダー・ミニ神楽面・有料オンライン配信等</p>  <p>神楽社中体験（着付け）</p>  <p>公演バックヤードツアー体験</p>

取組内容	<p>○石見神楽を活用した次世代育成プログラムの策定</p> <p>(1)未就学児から、小学校低学年の児童を対象としたプログラム</p> <p>①小さな子どもでも怖がらずわかりやすい公演の創出</p> <p>②石見神楽塗り絵展示会の実施</p>   <p>(2)小学校中高学年の児童から、中・高生を対象としたプログラム</p> <p>①学校で導入しやすい石見神楽の授業パッケージの開発・実施</p> <p>②石見神楽について学び体験できるイベントを毎年実施</p> <p>③学校を越えた学外活動グループ「石見神楽サークル」の結成</p>
	  <p>(3)社会人を対象としたプログラム</p> <p>「MASUDA no Douki」等で若手社会人に対して石見神楽に触れる機会を提供し石見神楽の関わりしるを提供。</p> <p>【内容案】OP-神楽見学-舞手の生き方に触れる-ED</p> <p>(4)MASUDA石見神楽Weekの定例化</p> <p>(5)石見神楽の担い手になるためのガイドブック作成</p>
	
成果	<p>○観光入込客数</p> <p>【R3年度】目標：786,000人      実績：644,876人</p> <p>【R4年度】目標：960,000人</p> <p>【R5年度】目標：990,000人</p>
今後の事業展開	<p>令和3年度で策定したプランを元に令和4年度・令和5年度において石見神楽による観光・産業振興策の実施及び石見神楽を活用した次世代育成プログラムを実施し、令和6年度以降に事業体が独自運営することを目指す。</p>